



発表項目 (行事名)	「令和元年度 未来へつなぐ!北国のいきもの守りたい賞」受賞者の決定について															
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者														
		発表場所														
概要	<p>道では、生物多様性の保全及び持続可能な利用を推進するために、道内で生物多様性の保全等に関して、優れた活動・模範的な活動を行う企業、団体、個人を表彰しています。</p> <p>この度、今年度の受賞者を決定しましたので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 受賞者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>名称</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">企業部門</td> <td>株式会社北海道アルバイト情報社</td> <td>札幌市</td> </tr> <tr> <td>北海道コカ・コーラボトリング株式会社</td> <td>札幌市</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一般部門</td> <td>認定NPO法人カラカネイトトンボを守る会あいあいネットワーク</td> <td>札幌市</td> </tr> <tr> <td>NPO法人環境把握推進ネットワークPEG</td> <td>釧路市</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 表彰式等</p> <p>表彰式及び受賞者による活動発表を、「世界自然遺産・知床の日記念行事『しれとこ大百科』」の中で行います。</p> <p>(1) 日時 令和2年(2020年)1月30日(木) 14:30~16:30</p> <p>(2) 場所 ホテルライフオーブ札幌 17階 スカイホール「サラ」 (札幌市中央区南10条西1丁目)</p> <p>(3) 内容 ア 表彰式・記念撮影 「未来へつなぐ!北国のいきもの守りたい賞」 イ 受賞者活動発表 ウ 講演「知床の植物」~オホーツクに突き出た小宇宙 植物が織りなす多様性ワールド~ (講師 斜里町立知床博物館 学芸員 内田 暁友氏)</p> <p>(4) その他 参加には申込みが必要(定員100名)。</p> <p>3 道HPのURL http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/hyousyou/R01.htm</p>			区分	名称	所在地	企業部門	株式会社北海道アルバイト情報社	札幌市	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	札幌市	一般部門	認定NPO法人カラカネイトトンボを守る会あいあいネットワーク	札幌市	NPO法人環境把握推進ネットワークPEG	釧路市
区分	名称	所在地														
企業部門	株式会社北海道アルバイト情報社	札幌市														
	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	札幌市														
一般部門	認定NPO法人カラカネイトトンボを守る会あいあいネットワーク	札幌市														
	NPO法人環境把握推進ネットワークPEG	釧路市														
参考																

報道(取材)に当たってのお願い	受賞者の功績を道民の皆様へ広く認知いただけるよう、積極的な報道についてよろしくお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所)		
	同時レク		

担当 (連絡先)	環境生活部環境局生物多様性保全課 担当:坂村 (内線) 24-389 (ダイヤルイン) 011-204-5987
-------------	---

令和元年度「未来へつなぐ！北国のいきもの守りたい賞」受賞団体の活動概要等

区分	受賞団体名	所在地	活 動 の 概 要	評価のポイント
企業部門	株式会社北海道アルバイト情報社	札幌市	<p>【H A J新十津川の森「ほある」】</p> <p>環境活動の柱として、北海道の木を使うことによって健全な森づくりのお手伝いをする「木づかい運動」を推進し、その実践の場として2013年5月に社有林として新十津川町総進の43.3haの山林を取得。社員有志が設置した散策路を活用したイベントや生物調査を行い、グループ社員及びステークホルダーが、たくさんの生物と共存しながら、健全な森づくりを考え・実践する場として活用し続けています。</p>	<p>紙を使う事業活動を展開される会社として、紙の原料となる森を大切に作る姿勢やコンサルタント会社に社有林の生物調査を依頼し、その結果をイベントに活用していること、NPO法人の指導を受けてイベントプログラムを作成していることなど、専門家の協力を得ながら自社社員等に生物多様性保全の認識を高めようとする取り組み姿勢が評価されました。</p> <p>現在は自社社員への普及啓発活動が中心となっていますが、課題として「地域とのつながり」を意識されていることから、地域の人々を巻き込んで活動を発展させていくことを期待します。</p>
企業部門	北海道コカ・コーラボトリング株式会社	札幌市	<p>【北海道e-水プロジェクト及び白旗山都市環境林もりづくり】</p> <p>「北海道の豊かな水環境や森は、北海道のすべての産業や多様な生態系を支える世界的にも貴重な財産であり、次世代に健全な形で引き継がなければならないもの」という理念のもと、製造している飲料製品の売り上げの一部を財源とした「北海道e-水プロジェクト」（北海道環境財団、北海道との共催）を実施し、全道各地で取り組まれる生物の多様性保全を含む水環境の保全につながる活動を支援しています。</p> <p>また、札幌工場の水源としている白旗山の森づくりや環境教育を行っています。</p>	<p>水を使った製品を製造する会社として、流域や森林、豊かな自然環境から高品質な水が得られるという確固たる想いを自社商品にこめて、生態系の保全などに取り組む団体をサポートする「北海道e-水プロジェクト」の仕組みを評価しました。また、製品の水源である白旗山を活用した環境教育では、関係機関との連携もみられるほか、たくさんの方が参加されています。</p> <p>10年目を迎えた「北海道e-水プロジェクト」をはじめ、今後も「水」をテーマとした生態系保全の取組への支援が進化し続けることを期待します。</p>
一般部門	認定NPO法人カラカネイトトンボを守る会あいあい自然ネットワーク	札幌市	<p>【未来につなげる篠路福移湿原・茨戸川地域の自然保護活動】</p> <p>希少種のカラカネイトトンボが生息する札幌市内に残る唯一の湿原の篠路福移湿原と茨戸川地域の生態系を守る活動を行っています。</p> <p>①ナショナル・トラスト運動（一坪買取基金による土地取得運動）を通じた篠路福移湿原の自然環境保護。</p> <p>②会員や地域住民が参加する湿原観察、ビオトープによる生物多様性の維持、ホタルの保護等。</p> <p>③雨水調整池の環境整備を20年以上継続し、高校生によるトンボの生息調査を通じて自然環境の時系列的変化を裏付け。</p> <p>④湿原性植物の種の採集・播種・育成を通じた湿原の多様性の維持。</p>	<p>篠路福移湿原をはじめとした地域の環境を地域で守らなければならないという熱意をもって活動されており、湿原の観察会やビオトープの整備などでは多くの地域の方々が参加され、また活動地域は高校生によるトンボの生息調査のフィールドに活用されるなど、子どもから大人まで幅広い世代の方々と一緒に取り組んでいることが評価されました。</p> <p>今後も引き続き地域と一体となった活動に尽力され、ネットワークが広がることを期待します。</p>
一般部門	NPO法人環境把握推進ネットワークPEG	釧路市	<p>【釧路湿原域に生息する野生生物の保全活動及び外来生物の防除活動】</p> <p>釧路湿原を代表するキタサンショウウオなどの希少生物の保護・保全を目的とした調査研究を行政、研究者、民間企業と連携して実施しています。</p> <p>また、釧路湿原域に侵入定着した特定外来生物ウチダザリガニの防除活動や効果的な防除方法の確立に向けた調査研究などを行っています。その他、これまでの活動の成果をより広く還元することや、希少生物の保全対策や外来生物の防除対策の課題及び問題点などについて広く普及啓発することを目的として、行政や関係団体、地域住民などを対象とした環境教育活動に取り組んでいます。</p>	<p>研究者や学生などと連携して、絶滅危惧種キタサンショウウオに関する調査研究や特定外来生物ウチダザリガニの効果的防除方法の調査研究などに取り組まれていることや、観察会などを通じた地域の方々への普及啓発活動など、釧路湿原の生態系の保全に熱心に取り組まれていることが評価されました。</p> <p>今後も関係者・機関等と連携して調査研究や普及啓発に尽力されるとともに、活動の輪を広げられ、ともに取り組む人材の育成にも取り組まれることを期待します。</p>

※部門毎に、団体名の五十音順に掲載